

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭63-195754

⑬ Int. Cl.

G 06 F 12/14
G 06 K 17/00

識別記号

3 2 0

庁内整理番号

F-7737-5B
U-6711-5B

⑭ 公開 昭和63年(1988)8月12日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 端末器における外部メモリカードの転用規制方式

⑯ 特 願 昭62-27006

⑰ 出 願 昭62(1987)2月6日

⑱ 発 明 者 甲 斐 信 奈良県奈良市帝塚山南2丁目13-10

⑲ 発 明 者 保 井 剛 太 郎 兵庫県西宮市北名次町15番22

⑳ 出 願 人 三ツ星ベルト株式会社 兵庫県神戸市長田区浜添通4丁目1番21号

明 細 書

1. 発明の名称

端末器における外部メモリカードの転用規制方式

2. 特許請求の範囲

1. 情報センターによって割り付けられた所定の識別番号を各端末器の不揮発性メモリに書き込むと共に、端末器で使用される外部メモリカードに該端末器に登録された識別番号を書き込んでなり、該端末器と外部メモリカードの所定の識別番号が合致した場合のみ外部メモリカードにメモリされた処理情報を再生実行及び追加記録を可能にすることを特徴とする端末器における外部メモリカードの転用規制方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は端末器における外部メモリカードの転用規制方式に係り、詳しくは情報センタのファイルに蓄積され、端末からのリクエストに応じて

端末側へ伝送され、外部メモリカードにメモリされた画像情報を他の端末器では再生出来ないようにしてなる端末器における外部メモリカードの転用規制方式に関する。

(従来技術)

今日、電話回線と家庭、オフィスのテレビ受信機あるいはパーソナルコンピュータを接続し、公衆通信回線網を經由して情報センターに蓄積されている文字、図形等の画像情報をデータベースから検出し、送られてきた画像を見て応答することができるビデオテックスサービス等の公衆通信サービスが提供されており、夫々の利用者にはこれを処理するためにテレビ受信機用の端末器(アダプター)が必要になっている。

ここで使用されている端末器は送受信用であり、CPU(中央処理装置)、ROMとRAMの主記憶部、通信網インタフェースと通信回線に連結したモデム、キーボードあるいはキーパッドインタフェース、セントロインタフェースとプリンタから構成されている。それと共に、上記端末器には